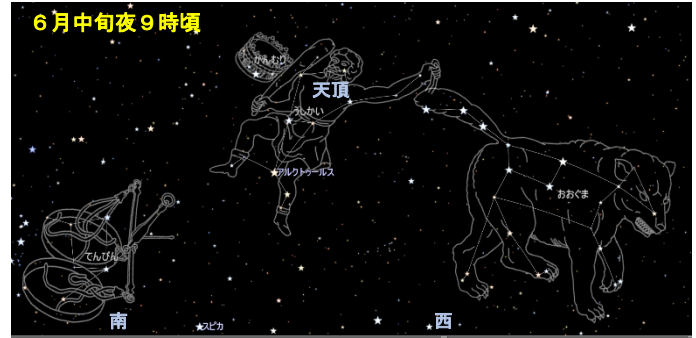


星図はステラナビゲーター11を用いて作成

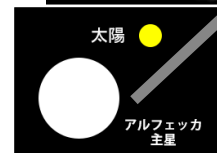
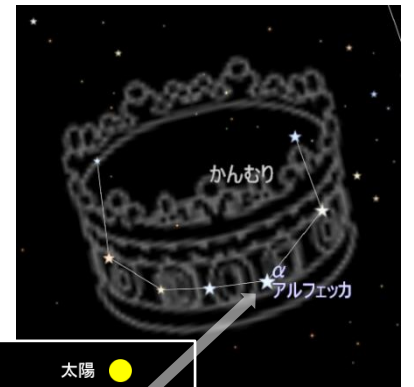
★ 今月の星もよう ★

6月4日に金星が東方最大離角となるので、6月中は、太陽の眩しさの影響を受けずに観測しやすくなります。「最大離角」とは太陽からの見かけの位置が最も離れた状態のことで、金星が太陽の東側にある東方最大離角では、日没後の西の空で明るく輝く金星が見られます。6月中旬の夜9時頃の東の空には、夏の星座が見え始め、また、南から西の空にかけては春の星座が広がっています。天頂付近に自立つオレンジ色の星は、「うしかい座」の1等星アルクトゥールス（ギリシャ語で「熊の番人」という意味）です。すぐ近くにある「おおぐま座」の後を追いかけていくように見えることから、名付けられたといわれています。南の空の中ほどの「てんびん座」は、春の星座で、正義の女神アストレアが、人間の善悪をはかるのに使う〈てんびん〉をかたどったものとされ、3つの三等星が左右逆の「く」の字の形に並んでいるのが目印です。



★ かんむり座のα星「アルフェッカ」

「うしかい座」のすぐ東にある夏の星座「かんむり座」は、2等星1つを除き4等星以下の星で構成された目立たない星座ですが、7つの星が特徴的な半円形に並ぶ美しい形で、その名のとおり冠をかたどった星座です。その冠のように並んだ星の中で、2等級と1つだけ明るい恒星のアルフェッカは、アラビア語でかんむり座の半分欠けた円形の形の中で明るく輝く様子を表現した言葉ですが、アルフェッカには、他にラテン語で「宝石」を意味する「ゲンマ」という別名もあります。ゲンマも、冠の中央で2等星ながら、キラキラと輝く印象深い星の美しさから名付けられたものです。詳しく観測すると、アルフェッカは太陽の直径の4倍ほどある主星と、主星の直径の10倍ほどのところを太陽と同じくらいの大きさの伴星が互いに回る連星で、地球から見て、二つの星が食を起こす（互いに隠しあう）ことで明るさが変化する食変光星としても知られています。



星の名	アルフェッカ
星座	かんむり座
明るさ	2.2等級
距離	75光年

★ 月が土星に接近後、続いて木星に接近

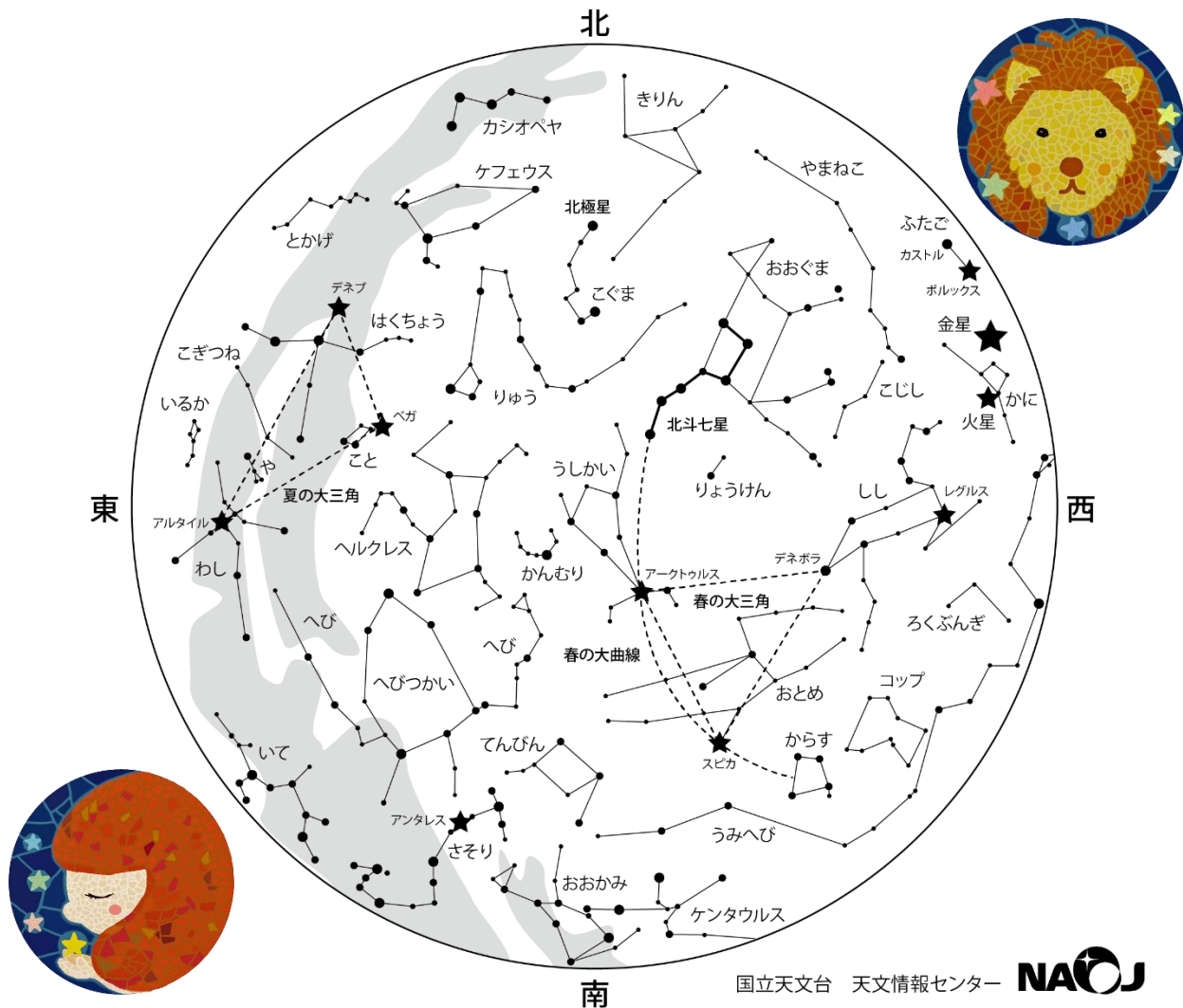
6月の明け方前、午前3時頃の南東の空の中ほどの高さには、土星が見えています。9日から12日にかけて月が土星に接近し、10日には土星の右下に、11日には土星の左（東）に移動していきます。このときの月はちょうど下弦（半月）となり、日毎に細くなりながら東へ移動していきます。その後、13日から15日にかけての明け方前、東の空の低いところで明るく輝く木星に近づきます。木星は約-2等ととても明るく、低い空でもよく目立ち、14日には細くなった月が木星の右上に見られます。早起きして観察してみてくださいはいかがでしょう。



★ 6月のプラネタリウムの内容については、別刷りの「投影案内」をご覧ください ☆☆

★ プラネタリウムのお休み 6/5(月)、12(月)、19(月)、21(水)、26(月)

6月上旬午後9時頃の星空



★ 6月上旬の主な天文現象

2日(金) 火星が、かに座のプレセペ星団を通過	10日(土) 未明に、月と土星が接近
4日(日) 〇満月、金星が東方最大離角	11日(日) 下弦
6日(火) 芒種	13日(火) 金星がプレセペ星団に接近
	14日(水) 未明に月と木星が接近

★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 6/1~15) ※下記時刻は、予想値です

◇ 6月 1日(木) [見やすさ ◎]	20:30	西北西	~	20:34	南	(国際)
◇ 6月 2日(金) [見やすさ ◎]	19:41	北西	~	19:47	南東	(国際)
◇ 6月 12日(土) [見やすさ ◎]	4:01	西北西	~	4:07	南東	(中国)
◇ 6月 13日(日) [見やすさ ◎]	3:01	西北西	~	3:07	東南東	(中国)

豆知識：宇宙ステーション (ISS, CSS) は、明るい星が動いているように見えます。
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。